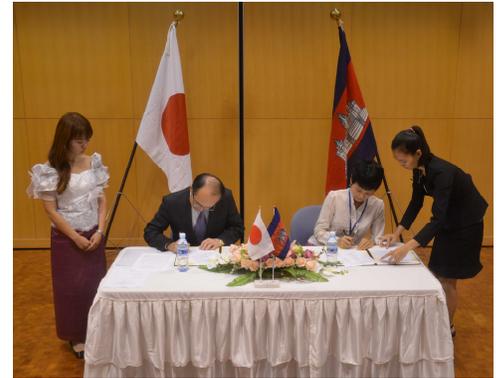


平成25年度日本NGO連携無償資金協力署名式典



3月7日（金）、平成25年度日本NGO連携無償資金協力署名式典が当館多目的ホールにて執り行われ、隈丸優次特命全権大使と認定NPO法人IVYの松浦あゆみプロジェクトマネージャーが「スバイリエン州農産物組合の持続的な経営体制の確立を通じた農村における貧困削減事業（フェーズ2）」（供与限度額：273,037米ドル）案件の贈与契約書に署名を行ないました。

本案件では、無農薬・有機野菜の生産増加や分別出荷管理体制の立ち上げ支援に加え、スバイリエン州農産物組合（SAC）が主体的に活動を行えるよう自立化を支援します。人口の約9割が農漁業に従事しているにも拘らず、農業収入が低いため首都への出稼ぎが多いスバイリエン州において、付加価値のついた農作物の分別出荷管理体制構築に係る支援は非常に重要であり、本事業を通じてSACが自らの手で生産した無農薬・有機野菜を安定的に分別・出荷し、カンボジアにおける農業共同組合のモデルケースとなることが期待されています。



式典では隈丸大使がスピーチを行ない、今回の支援がカンボジアの草の根レベルの人々に直接裨益し、日本とカンボジアの更なる友好促進につながることを願うと述べました。続いて、松浦プロジェクトマネージャーが日本国民及び政府への感謝の意を表明し、今後もSACと協力して組合の組織運営、事業運営の能力強化に力を入れ、組合の自立化と持続的発展に努めることが約束されました。

スピーチの後、隈丸大使と関係者全員による記念撮影が行なわれ、式典は和やかな雰囲気の下に終わりました。

